

創造性とは？

M・チクセントミハイの理論から紐解く



田中真里奈 | Marina Tanaka
Mimicry Design
Art Educator





創造性とは何か？



伊賀文洋

「人間の思考状態には受動(感性)と能動(破壊と創造)があり、創造とは能動状態での思索または行動である」

伊東俊太郎(麗澤大学)

「創造とは、問題を解決する、素材の新しい組み合わせ、新しい理論への変換を可能にする新たな視点の発見である」

大鹿 譲(福井工業大学)

「人類が神の意志によって地球上で覇を称えるに至った原因たる活動で、同時に人類の進化の原因となる活動」

恩田 彰(東洋大学)

「異質の情報や物を今までにはない仕方で行き届かせること、新しい価値あるものを生み出す過程である」

岩淵幸雄(情報知識学会)

「創造とは、戦略的発想の原動力である」

江川 朗(総合経営研究所)

「創造とは、きわめて異質の発想を実現した社会的成果。発想の組み合わせによる異質の意味化」

江崎通彦(朝日大学大学院)

「今よりすぐあとの世界(未来)に夢を実現する」

金子達也(日立製作所)

「独創とは尽力経歴なり。わがいま尽力経歴にあらざれば、一法一途にたどることなし」

川喜田二郎(株川喜田研究所)

「なすに値する切実なものごとを、おのれの主体性と責任において実現すること」

岡田 進(北陸先端科学技術大学院大学)

関 博剛((有)若草ホームデザイン)

「意識と下意識を含む創造性を、目的に志向して、機能的に統合運用し、一つの文化を生み出す全人格的創造」

高橋 浩(現代能力開発研究所)

「質的な変革としてとらえたい。ものなら機能・構造の変革、社会ならしくみやしきたり・やり方の変革など」

岡田 忠良(戸田技術士事務所)

「従来の記憶にはなかったシステム、形、物、方法、機構などを新たに考案し表現すること」

岡田 孝典(東洋大学)

「新しいこと、新しい価値を生み出すこと、消滅をも含め、全生物に喜ばれ、できれば定義を超えて自然と」

岡田 孝典(東洋大学)

「創造とは、個人の中に、専ら自分だけの新しい結びつきを解体し、新しい結びつきにつくりかえること」

岡田 孝典(東洋大学)

「創造とは、左脳と右脳の左右両半球の情報交換を基幹とした新しい文化を生み出すこと」

岡田 孝典(東洋大学)

「創造とは、左脳と右脳が調和した瞬間に生まれる閃きで、創造の瞬間は、左脳と右脳が調和した瞬間に生まれる閃きで」

岡田 孝典(東洋大学)

「創造とは、新しいアイデア・思想、その表現、あるいは表現としての事物を、意図的に表現すること」

岡田 孝典(東洋大学)

「創造とは、表現である。これが栄養で大きく影響される可能性について」

岡田 孝典(東洋大学)より引用 <http://www.japancreativity.jp/definition.html>



クリエイティビティ

フロー体験と創造性の心理学

M.チクセントミハイ 著
Mihaly Csikszentmihalyi

浅川希洋志 監訳
Kiyoshi Asakawa

須藤祐二 訳
Yuji Suto

石村郁夫 訳
Ikuro Ishimura

CREATIVITY

Flow and the psychology of discovery
and invention

世界思想社

『クリエイティビティ: フロー体験と創造性の心理学』

M・チクセントミハイ著

浅川 希洋志 監訳

須藤祐二 訳

石村郁夫 訳



ミハイ・チクセントミハイ

Mihaly Csikszentmihalyi



1934年 ハンガリー外交官を父としてイタリアで生まれる。

シカゴ大学心理学科教授、教育学科教授。

シカゴ大学を定年退職後、カリフォルニア州クレアモント大学院大学教授。

心理学者であり、「フロー理論」の提唱者として知られている。

創造性や幸福に関する研究を行っている。



創造性



創造性

【小文字の創造性】

creativity

【大文字の創造性】

Creativity



【小文字の創造性】

creativity

個人レベルの創造性。
その人にとっての新しい価値の
創造。

個人の生活や空間の中で発揮され、その結果が
他者から認められなくとも自分自身の人生を豊か
にしてくれる。



【大文字の創造性】

Creativity

起点は個人であってても、公共における創造性。

文化や物事の仕組み、生活のあり方などに
改革をもたらす。

社会に大きな影響を与える。





『創造性のシステムモデル』



創造性は3つの主要な要素から構成された、システムの中で観察される体系的な現象。

領域[domain]

場[field]

個人[individual]



第一の要素：領域[domain]

「記号体系や諸規則や手続きのまとまりから成る領域」

「領域は、私たちが通常文化と呼んでいるもの、つまり、特定の社会や人類全体によって共有されている記号体系の知識に組み込まれる」



例：作曲 ♪



個人

アクセス

音楽の文化

音楽の理論

- ①既存のパターンの参照。
- ②変種を生み出す。
- ③領域に変化が起きる。

創造性と捉える。

領域[domain]



第二の要素 場(field)

「領域の門番としての役割を担う全ての人々が含まれる。彼らの仕事は領域に**新しい考えや成果を加えるべきか否か**を決定することである」

「**新しい作品の中でどんなものが認知や保存、記憶に値するかを選ぶのがこの分野の場である**」



例：視覚芸術

- 美術教師
 - 美術館の学芸員
 - 美術品収集家
 - 批評家
 - 文化事業に関わる財団
 - 政府担当者
- などによって構成される。

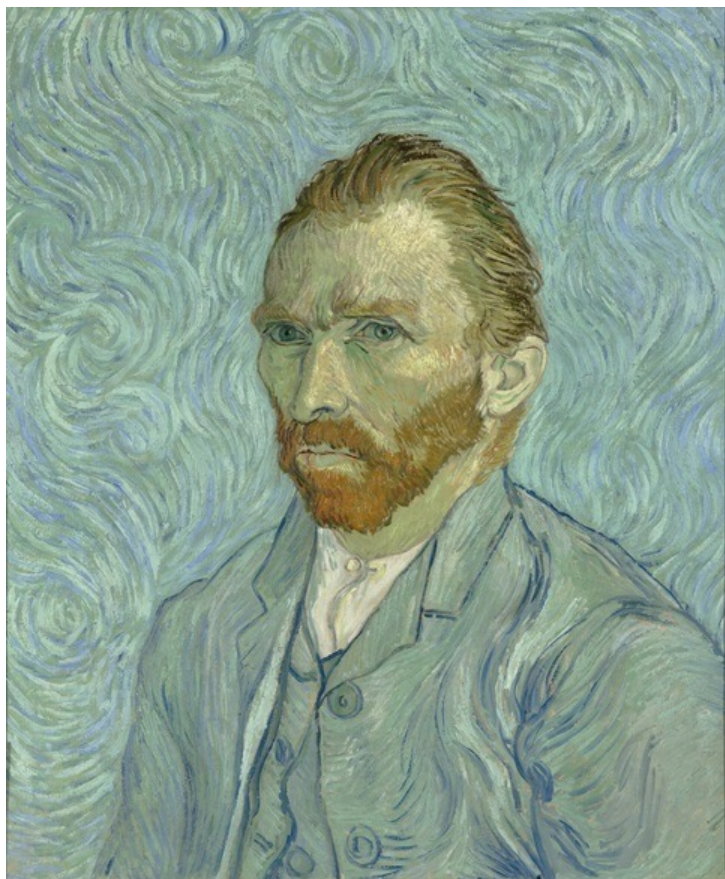


場[field]

社会



例：視覚芸術



個人

アクセス

芸術の文化

芸術の理論

- ① 既存のパターンの参照。
- ② 変種を生み出す。

場によって、価値があると判断される。

領域に変化が起きる。

領域[domain]



第三の要素 個人(person)

「音楽、工学、ビジネス、あるいは数学といった特定の領域の記号体系を用いて、ある人が新しいアイデアを出し、新しいパターンを見出したりするとき、そして、適切な分野の場によってその斬新さが選ばれて当該領域に組み込まれるとき、創造性が発生する」

【小文字の創造性】

creativity

個人レベルの創造性。

その人にとっての新しい価値の創造。



例：作曲 ♪



個人

個人レベルの
創造性：creativity

場によって、価値が
あると判断される。

音楽の文化

音楽の理論

①既存のパターンの参照。

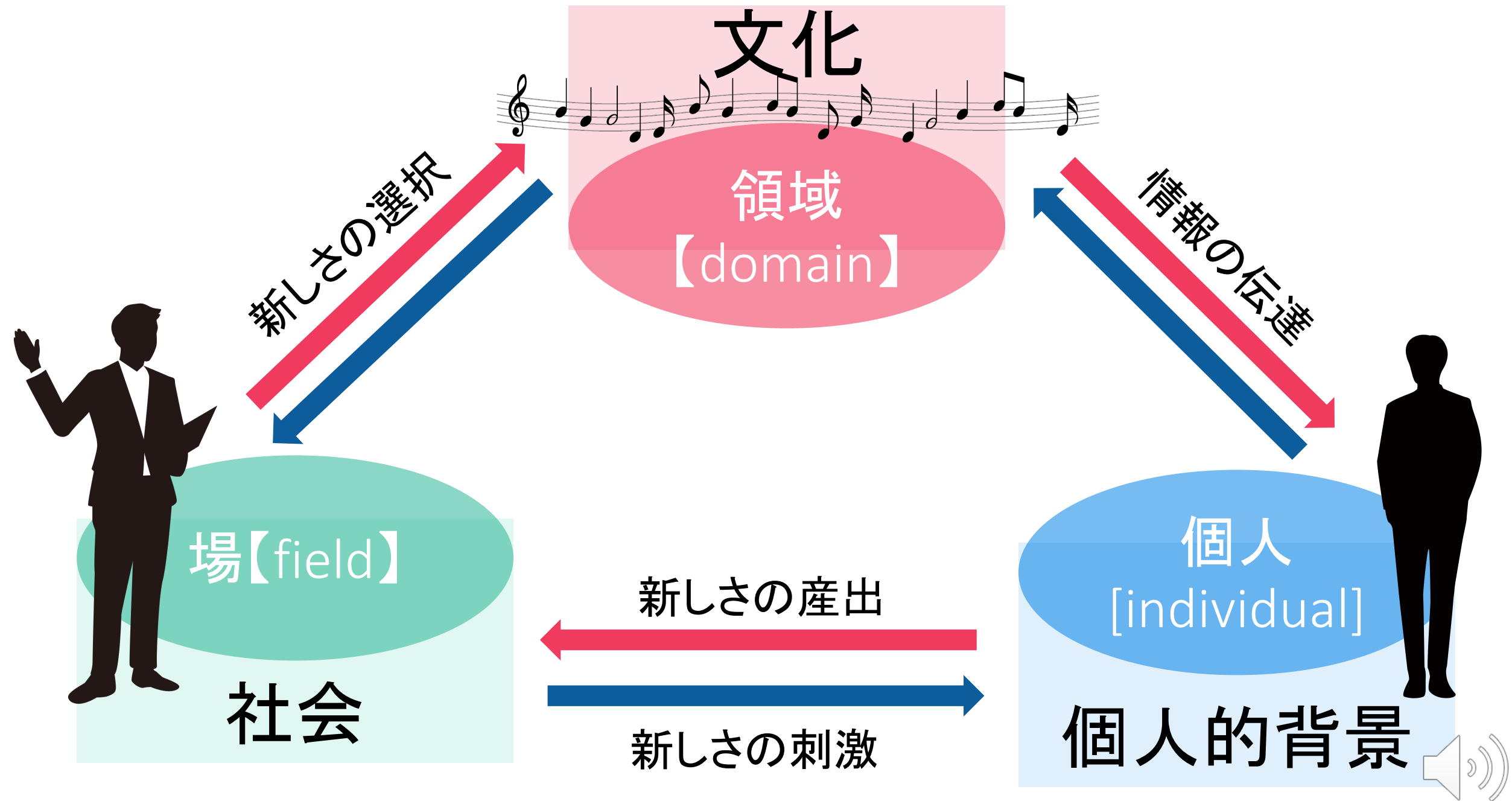
②変種を生み出す。

③領域に**変化**が起きる。

創造性：Creativity
と捉える。

領域[domain]





創造性のシステムモデルを踏まえて

創造性とは

「歴史に刻まれる創造性とは、既存の領域を変化させ、新しい領域へと変容される行為、思想、あるいは成果である」

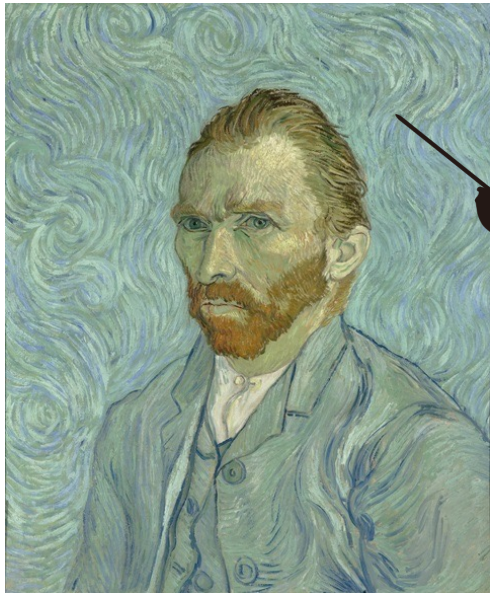
【大文字の創造性】

Creativity 

創造性のシステムモデルを踏まえて

創造的な人とは

「その思想や行為によって、領域を変化させ、新たな領域を確立する人物である」

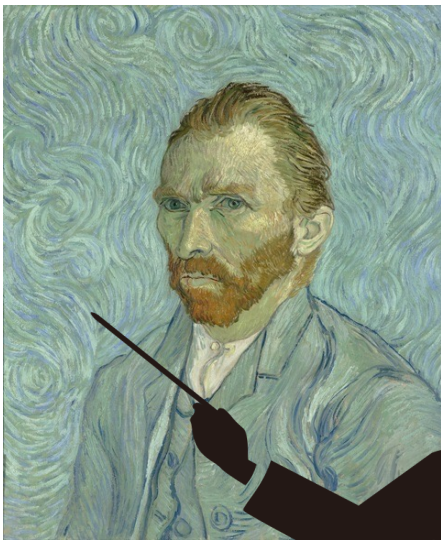


領域の変化は、その責任を負う、**分野の場の合意**がなければ起こりえない



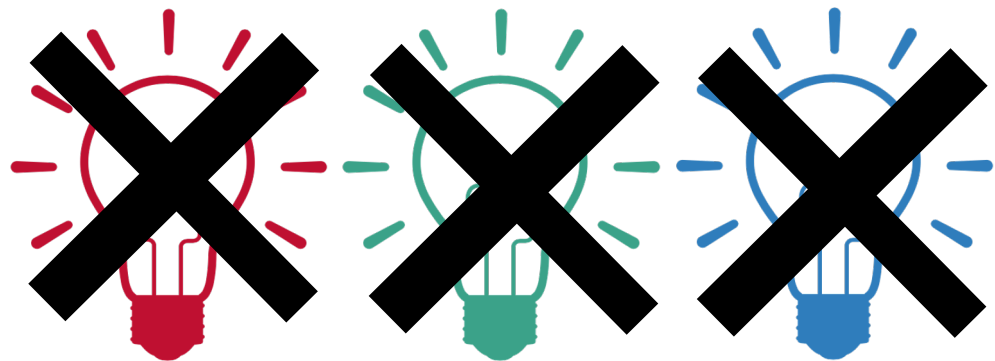
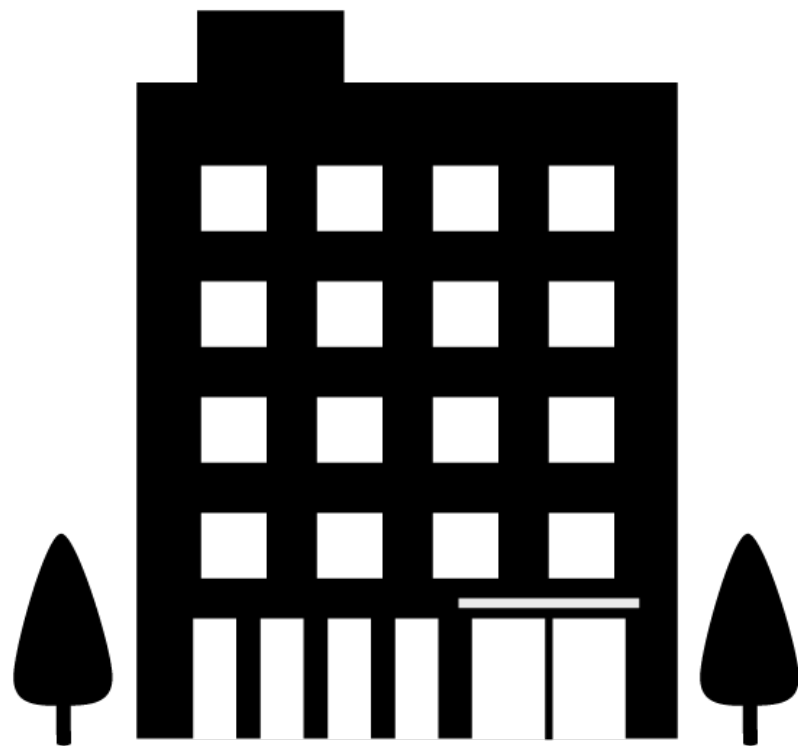
創造性のシステムモデルが意味すること

「最も重要なことは、ある特定の場所と時間における創造性のレベルが、個人の持つ創造性の量だけに依存しているわけではないということ」



領域や分野の場が、斬新なアイデアの評価と普及にいかにかに適しているかということも、同程度依存している。





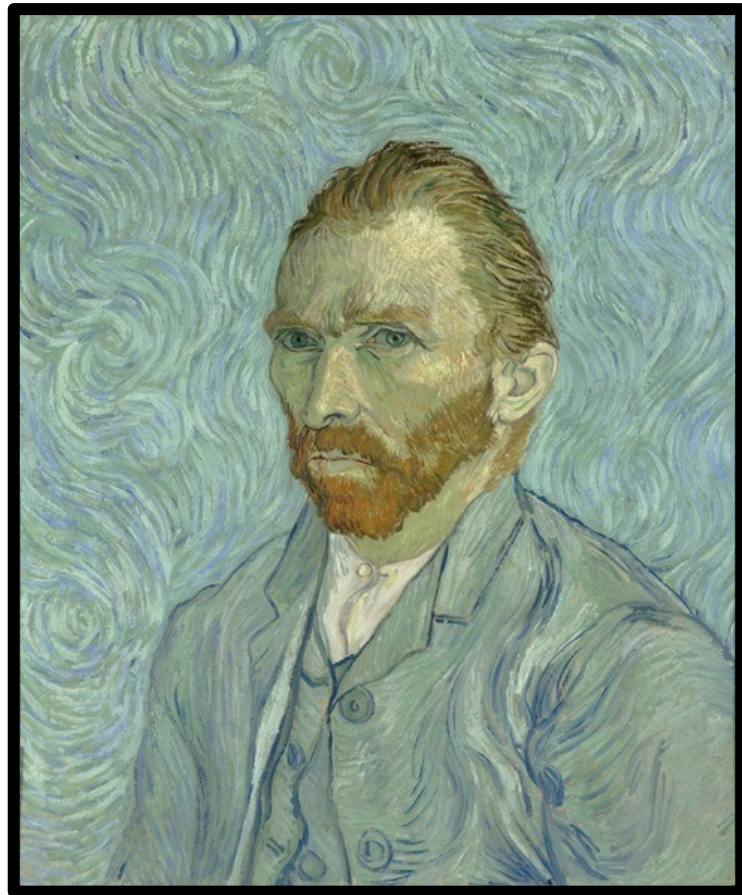
個人
[individual]

場【field】



創造性とは？

M・チクセントミハイの理論から紐解く



田中真里奈 | Marina Tanaka
Mimicry Design
Art Educator

